

4年間の任期を振り返って

11月12日をもって、議員の任期が満了となります。そこで、任期を振り返り、各会派からのメッセージをお届けします。

自由民主党議員団

日頃より、自由民主党議員団に多くの支援やご意見をお寄せいただき、深く感謝申し上げます。

自由民主党議員団は、青木克徳区長とともに、この4年間も、みなさまが葛飾区に住んでよかったと思えるまちづくり、そして、多くの方に葛飾区に住んでみたいと思っただけでなく、数々の重要課題に取り組んでまいりました。少子化や超高齢化、外国人区民の増加や地球温暖化による異常気象など、私たちの生活を取り巻く状況は、大きく変化しています。その様な中で、昨年の初めから一気に感染が拡大した新型コロナウイルス感染症は、私たちの日常生活を一変させました。誰も経験したことのない状況の連続で、今も状況は刻々と変化しております。自由民主党議員団は、国が実施した1人10万円給付金の迅速な支払や、子育て世帯への給付金の区独自上乗せ、プレミアム付商品券の発行拡大やワクチンの安定的な接種体制の確保、PCR検査の拡充と補助など、状況の変化を的確にとらえ、必要な対策を実現してきました。こうした緊急な対応を要するときに、区民のみなさまの生活に必要なことを速やかに実現していくことも、第一党である自由民主党議員団だからこそ可能であり、積極果敢に取り組んでまいりました。最近、SDGsという言葉をよく聞くようになりました。持続可能な開発目標と訳されますが、災害や人口減少、産業の衰退といった将来に向けて心配されている課題に対し、一つひとつ着実に対応を積み重ね、この先も発展していける社会をつくるという事です。自由民主党議員団は、待

機児童解消、学校におけるICT活用
の推進、介護予防、再生可能エネルギー普及の助成、木造家屋の耐震対策、商店街振興、公共交通の充実など、積極的に取り組んでいます。

自由民主党議員団は、青木克徳区長が掲げる「夢と誇りあるふるさと葛飾」を実現するため、今後も区長としてタッグを組み、葛飾区の責任政党として、これからも区民のみなさまがいつまでも安全安心に暮らし続けられるまちづくりを進めてまいります。

葛飾区議会公明党

区民の皆様には、平素からご支援・ご厚情を賜り、心から感謝申し上げます。葛飾区議会公明党は、生活者の目線から数々の政策を提言し実現するために全力で取り組んで参りました。この4年間は大型台風等の自然災害の発生が相次ぎ起こり、防災対策の強化を図る中で新型コロナウイルス感染症が発生、未だ収束の兆しが見えませんが、区民生活、地域経済は厳しい状況が続く中、新型コロナウイルス感染症を防止対策として、ワクチン無料接種の円滑な実施に向け、予約サポートや、大規模接種会場の増設などを全力で推進して参りました。子育てに苦労されている世帯への臨時給付金、また、生理用品の無償配布も実現いたしました。35歳から55歳の就職氷河期世代を雇用する区内の中小・小規模事業者を奨励金の交付も推進してきました。激甚化する災害に、川に囲まれた葛飾の水防対策の強化をはじめ、老朽化した橋の架け替えや道路の舗装、電線を地中に埋める「無電柱化」の推進、防災公園の整備などを推進して参りました。災害時に避難所にもなる学校施設の耐震

かつしか区民連合

この4年間の任期中は、かつしか区民連合の活動にご理解、ご協力賜りましたこと感謝申し上げます。4年前の区議選の後に同じ志を持つ5名でかつしか区民連合を結成し、活動を続けてくることができたのも区民の皆様のお支えがあったからだと存じ、御礼申し上げます。この間、葛飾区の各地域の課題に対し、常に現場に足を運び、区民の皆様とともに解決に向け努力をしてまいりました。特に令和元年の台風による風水害及び避難所開設、また、令和2年に発生した新型コロナウイルス感染症対策では区民の命と財産を守るため、その都度青木克徳区長に対して緊急要望を重ねてまいりました。その中でも社会的に弱い立場の方々への支援体制の整備を進め、危機管理体制

化を進めるとともに、改築予定間近の学校を除き、区内のすべての小・中学校の体育館へエアコン設置を進め、2021年度末までに完了することになりました。待機児童対策として、保育所の増設を推進し、この10年間で、新たに区内53か所の認可保育園、認定こども園を設置しました。児童相談所の区内設置に向けた取り組みを推進。区内の小・中学校の児童生徒用に1人1台のタブレット端末の配備も実現しました。区内小学校49校、すべての通学路の総点検を後押しし、防犯カメラを設置し、特に、交通量の多い箇所などを中心に、安全対策を強化して参りました。これからも葛飾区議会公明党は、区民の皆様のお声を聴く力を最大限に発揮し、住んで良かった、住み続けたい葛飾区を目指し、区政発展に全力で取り組んで参ります。

日本共産党葛飾区議会議員団

区民のいのちと暮らしをどう守るのか、区政のあり方が問われた4年間でした。特筆すべきは、新型コロナウイルスの感染拡大でした。区民の暮らしも生業も大変ななかで自治体としての対応が問われました。

わが区議員団は、区長へ15回の要望書を提出し、PCR検査の拡充、医療・保健所体制の充実、ワクチンの迅速な接種、暮らし・生業の支援などを求めてきました。

一昨年の台風19号など災害の激甚化は地球規模での気候変動が影響しており対策が急がれます。区議員は遅れて荒川の堤防強化や避難所改善などを求めてきました。

金町地域では、住民運動と結ぶ学童保育クラブ増設に道筋をつけました。バス路線を一貫して要求し、増便・増設を実現し、立石新駅舎にホームドアを設置させることになりました。

わが区議員団は、今後も区役所建替えなど無駄使いをやめさせ、暮らし・福祉第一の区政実現のため全力を尽くします。

颯新かつしか

しがらみのない政治を貫き、区政には区民第一の目線からは是非々々で臨ん

無所属 (※1)

選挙の不振で一年浪人。待機児童解消策や子育て支援策の改善案。散見される法治主義原則を逸脱した行政運営を指摘、改善。長期にわたる健全な財政運営を実現する方策について提案。総合庁舎の立石駅北口への移転について

無所属 (※2)

この4年間、区民の皆様のお声を一つひとつ丁寧に拾い上げ区政に反映できるように取り組んで参りました。高齢者施策においては地域包括ケアシステムの充実に取り組み、認知症保険を導入しました。また交通不便地域の解消にも積極的に取り組み、細田循環路線バスを導入しました。今後も魅力にあふれ、誰もが住み続けたい街の実現に向けて全力で取り組んで参ります。

無所属 (※3)

区長から提案された議案を追認するだけではなく、会派に縛られるでもなく、区民目線で精査してきました。鎌倉公園改修もその一つです。後半2年の区政は、コロナ禍により区民生活が不安に包まれ、議会の責務が問われました。区民のお役に立たなかったか、自問自答を繰り返しての4年間でした。行政と区民の架け橋として、地域への貢献をモットーに今後も働き続けます。

無所属 (※4)

要望書を提出し続けた4年間でした。公園の遊具設置、動物福祉、長年放置されていたせせらぎ通りの道路の全面補修、カーブミラーや街路灯、そして橋の照明の設置実現等、全て皆様の要望がきっかけです。コロナ対策では広報活動の見直し等が実現しましたが、今も毎日多くの意見を頂く日々です。区民の皆様への感謝と今後も尽力できることを心より願いつつ結びとします。

無所属 (※5)

4年間、多くの方々から活動を支えていただきました。ありがとうございました。コロナ禍で命と生活が危機に晒され、区民の福祉向上を最優先にした行政運営と税金の使い方が求められています。駅前再開発事業への税金投入を見直し、区民主体の区政運営を訴えてきました。今後も働く人を大切にする区政、税金が区民の福祉向上へ無駄なく使われる区政を求めていきます。

無所属 (※6)

青木区政の4年間は着実に成果があったものと評価する。また将来を見据えた本区の基本構想や前期実施計画の着手等、今後の区政運営を大いに期待して止まない。一方、保育の待機児童解消にも尽力され、その効果は高く評価する。さらに障害者や高齢者にもきめ細かく配慮され、優しいまちづくりに一層取り組んでいただきたい。今後の青木区長のリーダーシップに期待する。